

内田銀藏 うちだぎんざう 國史學・經濟史學者、文學博士。明治五年（一八七四）五月東京生れ、大正八年七月（一九一九）二月歿（八七—一九一九）。明治二十九年帝國大學文科大學國史學科卒。四十年京都帝大史學科教授となり、京大史學の基礎を築いた。日本經濟史の開拓者とも。『内田銀藏遺稿全集』全五輯（大正十年刊）がある。

著書に『大阪毎日北陸講演集』（公著、明治四十一年十一月、二十五日大阪毎日新聞社）、『續史的探究』（他四名公著・史學研究會編、大正五年一月十一日高山房）、『近世の日本』（昭和十二年十月、二十日創元社）『日本文化名著選』（昭和十四年十一月、二十日創元社）『日本文化名著選』（昭和十七年十一月、二十日河出書房）等。

